

らいいふ通信

lifsea
株式会社 リフシア

ホームページ
http://lifsea.co.jp
らいいふ日記(スタッフブログ)
green.ap.teacup.com
/lifsekaigo

2011秋 Vol.25

東日本大震災後は、職員やご家族から災害の話題が多く出ており、事業所の運営推進会議でも議題に上がっています。

去る10月2日(日)には海岸地区の津波を想定した避難訓練がありました。地域レベルで津波を想定した取り組みは初めてでしたが、皆さんの関心が高く大勢の方が参加され、私たちも交じって訓練に参加させていただきました。

浜見平団地に避難中です。



訓練は、事業所近くにある5階建ての浜見平団地に各グループが分かれて避難するもので、「らいいふ柳島」の皆さんも地域の方と一緒に階段を登り降りしました。私たちが登り降りし、住民の方が声をかけて下さり大変心強く感じました。



沢山の方が訓練に参加しました。要介護の方は、階段を下りる方が大変です。



スタッフが焼くやきそばの屋台に行列ができました。



リフシアの駐車場を使ってバザーをしました。地域の方や、リフシアの各事業所のお客様が足を運んでくださいました。



ピリ辛玉こんにやくも沢山売れました。



第2回東日本大震災復興支援バザーのご報告

去る10月30日震災復興支援バザーを開催しました。今回はリフシアの各事業所スタッフが出店を担当し、「萩園・鶴嶺西地区民生委員児童委員協議会の皆さんの掘り出し市」や「デイサービスの皆さんの手作り品」などに大勢の方が来てくださいました。前回に続き、萩園中学校3年生有志14名のボランティアが頑張ってくれたので大変活気あるバザーになりました。バザーの収益と寄付金は30万円になり、11月5日「東関東大震災・共同ネットワーク事務局」に手渡しで寄付しました。ご協力いただいた地域の皆さま、リフシアの事業所をご利用の皆さま、関係企業の皆さま本当にありがとうございました。

地域共生 防災訓練
東日本大震災により被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

湘南つれづれ 10

川上貞奴という人

「かわかみさだやっこ」という女性をご存知でしょうか。

彼女は日本の最初の女優といわれる人で、明治三十五年に、茅ヶ崎の高砂緑地(美術館のある敷地)に自邸「萬松閣」を建て、夫の川上音二郎とともに転居して来ました。

音二郎は自由民権運動思想や社会風刺を織り込んだ「オッペケペー節」で一世を風靡した俳優・演劇人です。

彼女の生涯は波乱万丈で、芸者から身を立て、時の首相・伊藤博文から寵愛され、川上音二郎と結婚し、バリ万博で公演して、舞踏会で大統領と踊ったり、彫刻家ロダンにモデルを頼まれるなど、ヨーロッパの社交界を席巻しました。帰国後、明治座での「オセロ」にも出演しました。夫の死後も、俳優養成学校を設立して、後輩を育てると共に、私生活では、電力王といわれた福澤諭吉の娘婿・福澤桃介と名古屋で同居生活を送り、実業家としても活躍しました。

二人の住んでいた大正時代の洋館が平成になって、移築され、名古屋城近くの文化のみち二葉館となりました。ここには、前号で紹介した作家・城山三郎の大量の蔵書、資料が保管されたコーナーがあるのも奇縁です。

彼女の生涯は、昭和六十年のNHKの大河ドラマ『春の怒濤』で、貞奴を松坂慶子、音二郎を中村雅俊の出演で放映されました。

小説では杉本苑子著の『マダム貞奴』、舞台では、三谷幸喜作演出の『恐れを知らぬか音二郎一座』などがあります。

今年は川上音二郎歿後100年、貞奴生誕140年の記念の年にあたり、九月から十一月にかけて、美術館での記念展覧会を中心に講演会、講談など多彩な催しものがあります。百年前の茅ヶ崎ゆかりの人物や場所を訪ねてみるのも興味深いものがあります。(井)



lifsea
株式会社 リフシア

らいいふ萩園 デイサービス(認知症対応型・一般型) TEL 0467-89-5277
らいいふ萩園 居宅介護支援センター TEL 0467-89-5277
らいいふ松林 小規模多機能型居宅介護 TEL 0467-54-8591
らいいふ神明 小規模多機能型居宅介護・グループホーム TEL 0466-21-7893
らいいふ柳島 小規模多機能型居宅介護 TEL 0467-84-1220
らいいふ香川 小規模多機能型居宅介護・グループホーム TEL 0467-55-2110

らいいふ
歳時記
event

香川



10月16日にらいいふ香川では避難訓練を実施しました。いざという時のため、階段や建物の細い隙間を慎重に通り返けて移動しました。使い慣れない消火器も、教えてもらえば大丈夫。日頃の備えと訓練が重要だと感じた1日でした。



神明

北海道物産展へ行きました。人の多さに圧倒されましたが、「物産展なんて久しぶり」「試食でおなかいっぱい」「楽しかった～」と好評。



秋の大運動会開催!メインイベントはパン食い競争。中身はジャムパン? あんぱん?



松林

広々としたウッドデッキに出て日光浴しながらシャボン玉。童心に返ってはしゃぐつらつら。



←祝 敬老の日 スタッフが紙芝居を読みました。↓イーハトーブさんのお庭にご招待していただきました。お花が沢山で皆様夢中です。



初めて富山県に行きました。黒部、深谷、相倉、合掌集落など美しい自然が沢山あり、大好きになりました。是非また行きたいです。(み)

毎年恒例のカレンダーができました。ご希望の方は編集室までお問い合わせください。

↑2012年リフシアオリジナルカレンダー



らいいふ通信「ぶちらいいふ」冬号Vol.25

2011年11月15日(季刊発行)

編集/ぶちらいいふ編集室

〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園 2822-1
TEL 0467-55-5102 FAX 0467-55-5103
発行/株式会社リフシア

【特集記事】地域共生ケアへの取り組み

地域の中のみんなの家「富山型デイサービス」



薬種商の姿を現在に残す「金岡邸」

3・11東関東大震災は、私たちに地域の絆の大切さを改めて実感させました。今回編集室は『地域共生ケア』を全国に先駆け先進的に取り組んでいる富山県を訪ねました。

私たちリフシアの掲げる

「心を添えてともに生きる」(運営理念)に

つながる共生のあり方を考えてみたいと思います。



会場は富山城の見える国際会議場

皆さんは「富山型デイサービス」をご存知ですか。18年前、誰もが支えたり支えられたり、赤ちゃんからお年寄りまで、障がいのある人もひとつ屋根の下で通って、泊まって、住む事ができる家としてはじまりました。現在富山県に80ヶ所、県外にも「富山型デイサービス」として広がっています。



子どもからお年寄りまで沢山舞台上に上がり「富山型デイサービス」の本音を語りました。

私たちは「第5回地域共生ホーム全国セミナー in 富山」(10月22日～23日)に参加し、2ヶ所の富山型デイを見学させていただきました。



NPOひらます代表佐伯知華子氏(左) NHK「きらっといきる」パーソナリティー玉木幸則氏(真中)毎日新聞論説委員野沢和弘氏(右)。「自分の好きなまちで暮らそうよ」をテーマに対談、生まれつき障がいを持つ玉木さんの自由なトークが絶妙でした。



「にぎやか」のキッチンと居間の上に2階から者が落下しないようネットが張ってありました。どこに居ても人の気配が感じられる大きな家でした。

「にぎやか」のスタッフに建物を案内していただきました。



「ありのまますを受け入れる、死ぬまで面倒をみる、親子じゃないけど家族です」



「にぎやか」の外観。



会場前のロビーに紹介された富山型デイサービスの日常風景。

セミナーは、震災被災地の支援活動から「みんなで共に創り出す共生社会」をテーマに開催され、最初に、富山型デイに係わる当事者が舞台上に上がり本音を語るところから始まりました。子供から障がい者、精神障がい者、要介護のお年寄り、そこで働く人たちがここに集う理

由、良いところ悪いところを発表

したのですが、印象的だったのは、若年性アルツハイマーのご主人を自宅で介護しているご家族が、「主人には笑うリズムや怒るリズムがある、この人らしく生きさせてあげたい」と思っているのに周囲は「こんなひどい状態では介護は無理だから施設に入れなさい」と言われて辛かった、今はありのままの主人を受け入れてくれる居場所ができ夫婦ともに充実している」というお話でした。

自分の生き方は他人が決める事ではない、ひとり一人が決めるのが当たり前という価値観がそこにはあり、誰も排除しない富山型デイの姿勢に感動しました。



「このゆびとーまれ」の前で記念撮影。

という活動理念で運営されています。見学させていただきその通りでした。

「このゆびとーまれ」は日曜でしたが赤ちゃんや障がいのある人、重度のお年寄りが大勢生活していて、障がいのあるスタッフや地域のボランティアさんも働いていました。

野沢和弘氏(毎日新聞論説委員)の話された「高齢化と失業の時代に入り生産性や効率性から新しい価値観へ、人間は一人では幸せになれないし大事な人がそばにいてみんなに必要とされ、ゆっくり歩くことで生きていると実感できる」のとおり「心を添えてともに生きる」(リフシアの運営理念)をもっと進化させたいと思いました。

富山発見

人に優しい街づくり

富山には「富山ライトレール」という日本初本格LRTが走り、低床車両、騒音・振動を抑えた設計で、お年寄りや車いす、ベビーカーでも楽に乗り降りできます。

